

健全化判断比率／西脇市は健全

法律により、地方公共団体は毎年度、健全化判断比率を監査委員の審査に付した上で議会に報告し、住民に対して公表することが義務づけられています。地方公共団体は健全化判断比率により、「健全段階」「早期健全化段階」「財政再生段階」の3段階に区分されます。西脇市は実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれの指標も「健全段階」です。

(単位：%)

項目	平成26年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率※1	-	13.09	20.00
連結実質赤字比率※2	-	18.09	30.00
実質公債費比率※3	8.4	25.00	35.00
将来負担比率※4	29.8	350.00	

※1 一般会計などを対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
 ※2 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
 ※3 元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率
 ※4 一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

基金・市債の残高／平成26年度末

西脇市の貯金に当たる基金残高は、92億8045万2千円で、前年度末に比べて4億2938万6千円増加しました。一方、借入金に当たる市債残高は、10億43万9千円減少しました。

(単位：千円)

項目	平成26年度(A)	平成25年度(B)	比較(A-B)
市債残高	53,864,281	54,864,720	△ 1,000,439
基金残高	9,280,452	8,851,066	429,386

平成26年度会計別決算の状況

(単位：千円)

区分	歳入額	歳出額A	差引額	25年度歳出額B	比較A-B	
一般会計	20,122,555	19,289,667	832,888	20,458,662	△ 1,168,995	
特別会計	国民健康保険	5,313,257	5,197,556	115,701	5,243,093	△ 45,537
	学校給食センター	305,854	305,854	0	321,806	△ 15,952
	老人保健施設	447,626	447,626	0	449,725	△ 2,099
	公営墓地	3,589	3,589	0	4,170	△ 581
	介護保険	4,009,259	3,956,659	52,600	3,840,956	115,703
	茜が丘宅地供給事業	5,420	5,420	0	385,899	△ 380,479
	後期高齢者医療	508,568	495,784	12,784	476,882	18,902
	太陽光発電事業	60,000	60,000	0	0	60,000
計	10,653,573	10,472,488	181,085	10,722,531	△ 250,043	
企業会計	水道事業会計	1,250,938	1,094,134	156,804	974,031	120,103
	簡易水道事業会計	72,812	540,614	△ 467,802	23,274	517,340
	下水道事業会計	2,643,926	2,828,554	△ 184,628	1,638,801	1,189,753
	病院事業会計	7,935,788	10,087,788	△ 2,152,000	7,747,914	2,339,874
計	11,903,464	14,551,090	△ 2,647,626	10,384,020	4,167,070	
合計	42,679,592	44,313,245	△ 1,633,653	41,565,213	2,748,032	

企業会計

企業会計については、本年度から改定後の地方公営企業会計基準を適用し、経営状況等を的確に把握できるように見直しをしています。

●**簡易水道事業**
 事業の効率化に努めましたが、減価償却費や資産減耗費の計上により費用が増加し、4億6780万2千円の赤字となりました。

●**水道事業**
 老朽管更新事業を実施するとともに、高度浄水処理施設を備えた上戸田浄水場建設工事が完了しました。市民サービスの向上と事業の効率化、経費節減に努め、1億5680万4千円の黒字となりました。

●**病院事業**
 「西脇病院改革プラン」に基づき経営改善に取り組みましたが、会計制度の改正等により、21億5200万円の赤字となりました。

●**下水道事業**
 施設の老朽化に伴う修繕経費等が増加しており、一般会計からの補てんも行いましたが、1億8462万8千円の赤字となりました。

西脇市の平成26年度決算

西脇市の平成26年度決算がまとまりましたので、一般会計・特別会計・企業会計の状況についてお知らせします。また、基金や市債の残高、健全化判断比率についても公表します。

■問合せ 財政課（市役所内線 387）



一般会計

一般会計は、歳入総額201億2255万5千円、歳出総額192億8966万7千円で、翌年度への繰越財源1億4250万3千円を除いた実質収支額は、6億9038万5千円で合併後10年連続の黒字となりました。

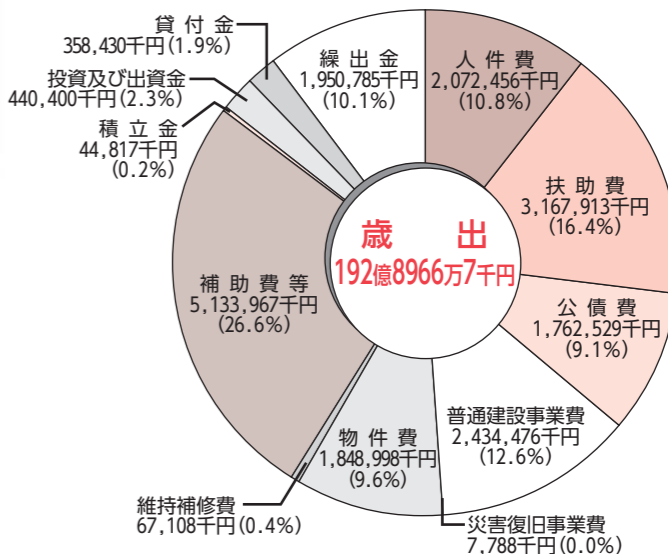
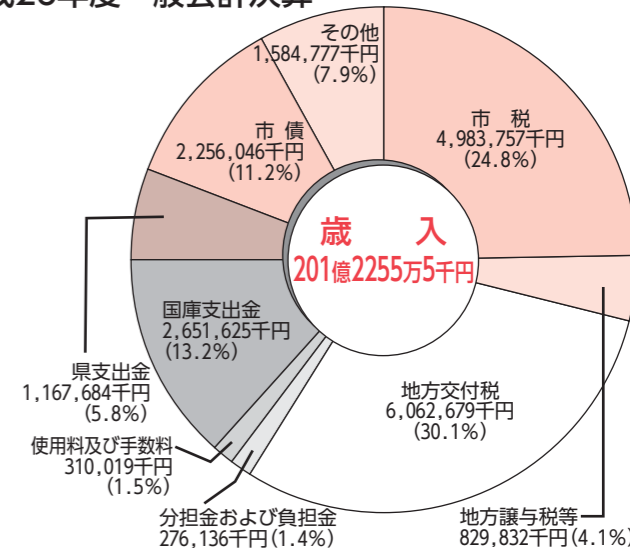
歳入

市税は法人市民税の減収により、全体として4044万円の減収（前年度と比べて0.8%減）となりました。国庫支出金については、国の経済対策による補助金が減少したことなどから6億5979万1千円減少しました。市債は大型の普通建設事業が平成25年度で完了したことに伴い、2億5806万9千円減少しました。

歳出

人件費は6421万8千円減少、補助費等は企業会計への負担金・補助金が増加したことなどにより5億1727万4千円増加しました。普通建設事業費は、平成25年度で学校給食センター整備事業等の大型事業が完了したことから、11億7784万7千円減少しました。

平成26年度一般会計決算



特別会計

特別会計とは、一般会計とは区分して特定の目的で設置された会計のことです。西脇市には、国民健康保険・学校給食センター・老人保健施設・公営墓地・介護保険・茜が丘

宅地供給事業・後期高齢者医療・太陽光発電事業の8会計があります。特別会計は8会計合計で、歳入総額106億5357万3千円、歳出総額104億7248万8千円でした。国民健康保険特別会計では、財政調整基金を取り崩すことなく1億1570万1千円の黒字となりました。

